2023 年度 自己評価報告書

評価対象期間　　自：2023 年４月１日

至：2024 年３月３１日

評価基準日　　2024 年４月１日

学校法人栗岡学園

四条畷看護専門学校

評価項目の達成および取組状況

1　教育

2　施設・設備

3　学生サービス

4　教育面などでの特筆すべき取り組み

自己評価回答責任者

副校長　　岸　さゆり

教務主任　　森本　美佐

教育分野　看護

1　教　　育

項　目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	５段階の自己評価	今後の向上・改善策
1．カリキュラムは貴校の教育目標をどのように反映していますか	・看護に必要な知識・技術・態度を修得し社会に貢献できる看護師の育成のため DP、CP、AP が反映できるカリキュラム編成に努めている。	・保健医療チームの一員及び地域に貢献できる看護師育成のため関連施設の学生と共同学習を行うことで学生の視野が広がった。 ・看護実践能力を段階的に向上できるよう概論、援助論、実習と系統立てて配置している。 ・准看教育からスムーズに移行できるように、基礎教育から段階的なカリキュラムになっている。	5 (4) 3 2 1 十 ふ 不 ← つ → 十 分 う 分	・今年度より共同学習や地域・在宅看護論実習Ⅰを１年次に配置した。2 年次では地域・在宅看護論実習Ⅱとして訪問看護実習が始まるため 1 年次の学びが 2 年次に繋がるよう学習支援をしていきたい。 ・新たな科目に対し更に学習内容を精選していきたい。
2．カリキュラムに卒後の職場のニーズをどのように反映していますか	・実習先の病院指導者や卒業生から職場のニーズを得て、カリキュラムに反映させている。 ・実習施設からも講義に来ていただき現場を意識した授業内容になっている。	・卒業時の学生アンケートで概ね教育内容に満足していたが、卒後の看護技術(診療の補助)に不安があったため、卒業前に技術演習の科目を編成し、現在授業内容を精選している。2 年次の科目となるため評価は次年度となる。	5 (4) 3 2 1 十 ふ 不 ← つ → 十 分 う 分	・就職先に卒業生の勤務状況のアンケートやインタビュー、交流会等を今後も継続していく。 ・計画的に技術練習/演習の機材を購入できるよう計画する。
3．授業科目の学年進行や時間配分は適切ですか	・指定規則を基本として配分できている。	・学習の順序性や学習効果を考えた時間配分を心がけているが、やや過密になっている。	5 4 (3) 2 1 十 ふ 不 ← つ → 十 分 う 分	・授業内容を精選し、時間割を作成する。 ・外部講師と調整し授業時期や終講試験日の調整を行う。
4．シラバス（授業要項）を作成していますか（内容は適切ですか）	・教育計画に沿って、シラバスを作成している。 ・どのような学習をするのかイメージできるようになっている。	・シラバス、実習要項は学生・教員に周知している。 ・学内だけでなく外部講師のシラバスや講義録も電子化し、共有可能になった。	5 (4) 3 2 1 十 ふ 不 ← つ → 十 分 う 分	・今年度より新カリキュラムがスタートした。次年度に向け「コミュニケーション能力」「臨床判断スキル」「地域・在宅」等が強化できる授業内容か評価し反映していく。

項　目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	５段階の自己評価	今後の向上・改善策
５．カリキュラムの見直し体制はどのようにしていますか	・年度末の会議に加え適宜教務会で見直しを行っている。 ・講義終了時に授業アンケートを行っている。	・授業終了時及び卒業時の学生アンケートを反映させている。学生からは概ね満足との評価を得ている。 ・令和５年度は新カリキュラムの学生と旧カリキュラムの学生が混在していたため専任教員や外部講師の意見を聞きながら時間割作成を行った。 ・単位（時間数）が少し増えたためやや過密になっている。	５十分　４　(３)　２　１不十分 ←　ふつう　→	・学科領域が横断的に連携できるよう検討する。 ・令和６年度は在籍学生が新カリキュラムでの教育を受けた学生であるため１年次から２年次のカリキュラムの繋がりがどうかＤＰを通し評価していく。
６．テキストや教材をどのような基準で採用していますか	・テキストは、科目目標や国家試験出題基準を参考に、教務会議で検討し採用している。	・ＩＣＴ教育を見据え電子書籍を採用したため、書き込みや検索がしやすい環境となった。	５十分　(４)　３　２　１不十分 ←　ふつう　→	・臨床現場のイメージ化が図れる電子書籍の選定を行う。 ・ＩＣＴ教育のための環境整備を充実させる。
７．目標とする教育効果を踏まえて適切に成績評価を行っていますか	・科目の目的・目標に沿って評価している。 ・成績評価方法は学生便覧及びシラバスに明記している。	・成績評価は、科目担当が基準に則り公平に評価している。 ・成績評価の見直しをその都度行っている。 ・成績評価にかかわる問題が生じた場合や成績不良者の情報共有は、教務会議で検討し学生、保護者へ説明している。	５十分　(４)　３　２　１不十分 ←　ふつう　→	・特に実習評価は差異が生じない様に可視化できる評価表を検討する。 ・教育効果を明確化するため、今後はルーブリック評価を実施する。
８．学生の理解度に応じて授業を柔軟に進めていますか	・学生の理解度に応じ、授業形態は、講義・演習・実技・実習を組み入れている。学習方法は、アクティブラーニング・ＰＢＬ・ディスカッション・プレゼンテーション等を実施し主体性を尊重した参加型の授業を実施している。	・学生の質問の機会を作るなど学生が積極的に授業に参加できるようにしている。 ・国家試験対策では特別講義とチューター性を取り入れている。	５十分　(４)　３　２　１不十分 ←　ふつう　→	・主体的に学習時間が確保できるよう、学生の状況を理解しながら支援していく。 ・授業研究への取り組みを検討する。 ・定期的なアンケートや確認テストを行っていく。

項　目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	５段階の自己評価	今後の向上・改善策
	・レポート課題などで学習の理解度を把握している。			
９．学生の学力不足を補うための教育をとくに実施していますか	・長期休暇時には学習課題を確認し学力不足の学生には面談を行っている。 ・学力不足の学生にはランチョンセミナー等を開催している。	・1 年次は学習対策委員を中心に主体的学習の実施、2 年次はチューター性を活用し国家試験対策を個別指導している。 ・成績不良者に対し担任・教務主任を中心に面談を実施し学習方法の指導を行い成績アップにつなげている。	5十分 ← (4) 3ふつう 2 → 1不十分	・入学直後から学力不足の学生に対し、学習方法の指導を今後も継続していく。 ・教員同士で情報共有を行い、教員全員が連携しながらのサポート体制を工夫し継続する。
10. マナー（喫煙指導などを含む）やしつけの教育や指導を行っていますか	・専門職業人としてふさわしい品性を備えられるよう随時指導している。 ・学生の自尊心の尊重を基本理念としている。 ・校内禁煙	・便覧に則りながら教務会議で協議し共通認識をもち随時指導している。 ・なぜ必要なのかとわかるよう説明している。 ・年齢層が幅広いため、学生を尊重しながら指導を行っている。 ・特に実習中には患者との関係を通して指導することで身についている。	5十分 ← (4) 3ふつう 2 → 1不十分	・教職員全員で意思統一を図り、指導を行っていく。
11. 教育技術（教育方法） の研修・研究を実施していますか	・教育の質向上の目的で、個々の教員のニーズに合わせた研修や講習会が 2 回/年参加可能である。 ・伝達講習を義務化し知識を共有している。 ・他校の授業を見学し刺激を受けている。	・今年度は、教員が 2 回/年 研修会に参加することができ知識を得ることができたが、タイムリーに共有することが難しかった。	5十分 ← (4) 3ふつう 2 → 1不十分	・今後も教員が年 2 回研修・研究会に参加し、タイムリーに知識を共有し教育の質を向上していく。 ・外部講師や他校の授業見学等の機会を設ける。

項　目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	５段階の自己評価	今後の向上・改善策
12．学生による授業評価を実施し教育改善に反映していますか	・科目終了後に授業アンケートを実施している。集計後は教員にフィードバックし、改善に繋げている。	・授業アンケートを実施しすることで、教員の課題が明確になり、授業改善に反映できている。学生の意見も担任を中心に確認している。しかし、授業評価が講義終了後であるため授業に反映できない時がある。	5 (4) 3 2 1 十分 ← ふつう → 不十分	・授業アンケートは継続する。 ・学生の意見をタイムリーに確認できるよう今後も継続していく。

2　施設・設備

項　目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	５段階の自己評価	今後の向上・改善策
1．教室の数や広さ、附帯設備は適切ですか	・指定規則に準じ人数に見合った、教室や付帯設備である。	・ＡＶ機器、エアコン等は、徐々に最新のものを設置している。 ・グループワークや面談に使用できる場所が少ない。	5 4 (3) 2 1 十分 ← ふつう → 不十分	・校舎、付帯設備に問題が生じた場合は、即時対応し良好な学習環境を確保する。
2．図書室を設け蔵書を適切に揃えていますか（有効に活用されていますか）	・指定規則に準じた蔵書・教材を購入している。 ・司書が毎日開室し定期的に蔵書点検を行っている。	・書籍の整理はできており、検索システムがある。 ・学生が実習や看護研究を行っていくうえでの貸出可能な文献が十分でなく年数も経過している。	5 4 (3) 2 1 十分 ← ふつう → 不十分	・最新の図書を継続的に増やす。 ・学生のニーズに合わせた開室、使用方法を検討する。
3．実習・実験室の数や広さ、附帯設備は適切ですか	・指定規則に準じている。 ・学生の人数に十分応対できる実習室の広さや個数は確保されている。	・モデル人形を購入・レンタルすることで、学内実習や卒業前技術演習に取り組むことができた。 ・備品の取扱いを通し物品の手入れや大切に扱うことが学べている。	5 (4) 3 2 1 十分 ← ふつう → 不十分	・演習用物品を計画的に購入できるよう検討する。 ・定期点検とともに、授業終了後はその都度点検を行う。 ・破損・汚染時は迅速に対応する。

項　目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	５段階の自己評価	今後の向上・改善策
４．最新機能を備えた視聴覚機器や情報機器は足りていますか（有効に活用していますか）	・リモート学習ができるよう Wi-Fi 環境の整備やパソコンを購入した。	・Wi-Fi 環境を整えた。 ・情報科学の授業は、関連校の教室を利用している。 ・視聴覚機器，ＰＣソフトは随時新しいものを購入している。	5 4 (3) 2 1 十 ふ 不 ← つ → 十 分 う 分	・学生が使用できるＰＣの設置ソフトの更新などセキュリティ対策を行う。 ・卒業前演習でも臨地に対応できるような備品の充実を行う。
５．ニーズに応じた学生寮を保有していますか（有効に活用されていますか）	・徒歩圏内に寮母が在住する女子寮(個室)を保有している。 ・寮母と学校との連絡は図れている。	・築浅の綺麗な施設で、学習環境に恵まれている。 ・Wi－Fi 環境が整っている。	5 (4) 3 2 1 十 ふ 不 ← つ → 十 分 う 分	・学生のニーズに合わせて有効に活用していく。
６．体育館や運動場などを保有していますか（有効に活用されていますか）	・関連施設の体育館を使用している。 ・学生行事、サークル活動や地域住民にも開放している。	・学校行事など体育館利用を行っている。	5 4 (3) 2 1 十 ふ 不 ← つ → 十 分 う 分	・利用がスムーズになるよう、関連校と連携し活用を進めていく。

3　学生サービス

項　目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	５段階の自己評価	今後の向上・改善策
１．クラス担任制をとり修学に問題のある学生に対して適切な対応を行っていますか	・クラス担任を中心として役割別担当も機能させながら、学生に対応している。	・教務会議で学生の状況報告を行い、教員全体で学生支援にあたっている。 ・学生の抱える問題も多様化し担任に負担が偏っている。	5 (4) 3 2 1 十 ふ 不 ← つ → 十 分 う 分	・担任に負担が偏らないよう学生対応に余裕ができるよう副担任を増やし対応していく。 ・必要に応じて支援体制を調整する。
２．学生に対してカウンセリング（心理相談）を行っていますか	・専門家が定期的に来校し、希望する学生にカウンセリングを行っている。 ・教員とカウンセラーが連携を取りながらフォローしている。	・個室で実施しプライバシーは遵守されている。 ・教員は、傾聴、受容、共感的な対応で支援している。	5 (4) 3 2 1 十 ふ 不 ← つ → 十 分 う 分	・専門家との連携の強化を図る。 ・教員に対する心理相談の教育プログラムを検討する。 ・心理相談が受けやすい環境を調整する。

項　目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	５段階の自己評価	今後の向上・改善策
３.教室以外に休憩スペースが適当に置かれていますか	・２階にロビー、３階に更衣室/多目的室があり、語り合いや休憩場所として活用している。	・多目的室、カンファレンス室を設けたことで、自由に自己学習ができるようになった。 ・ロビーや更衣室に休憩スペースがあるが空調設備がない。	5 4 (3) 2 1 十分 ← ふつう → 不十分	・ロビー/更衣室の良好な環境整備を進める。
４．食事場所や売店などのスペースが設けられていますか	・売店はないが、学校が選定した弁当業者を学生は活用している。 ・昼休憩中は、近隣のコンビニを利用している。	・弁当業者の利用者数は多い。 ・教室以外に多目的室も使用し食事スペースを確保した。	5 4 3 2 1 十分 ← (ふつう) → 不十分	・昼食場所が限られているため、気持ちよく利用できるよう環境を進める。
５．学校独自に奨学金や特待生制度を行っていますか	・関連医療施設に奨学金制度があり、就職も可能である。	・学校見学会や入学時に奨学金制度について説明を行っている。	5 4 (3) 2 1 十分 ← ふつう → 不十分	・学校見学会などで、奨学金制度の説明を継続する。
６.その他	スクールバスの運行を行っている。	・スクールバス乗車を希望している学生は、ほぼ乗車できているが、乗車できない時期が若干ある。	5 (4) 3 2 1 十分 ← ふつう → 不十分	・スクールバスの運行の続行。 ・早朝乗車の学生の対応を充実させる。

４　教育面などでの特筆すべき取り組み（自由記入）

<学内においてこれまで記入したこと以外に、教育、施設・設備、学生サービス面での特筆すべき取り組み>

・国家試験対策のチューター制に加えさらなる強化を図るために、直前には担任以外にも担当者を置き指導にあたった。看護師国家試験合格率は 94.4%であった。

・関連校（理学療法学科、作業療法学科）との協力体制を図り、共同学習を通し多職種連携の認識が深まっている。

・今年度は地域のボランティア活動及び学校運営協議会へ出席し、地域との交流・連携を深めることができた。今後も交流や連携を図り、更なる関係性構築に努力したい。

・新カリキュラムの意図を背景に１年次より地域を見据えた実習を行ったことで、看護の視点が広くなり学習評価の得点も高くなっている。

・平成 31 年４月より厚生労働大臣が指定する「専門実践教育訓練給付制度指定講座」に認定された。また令和２年４月には、高等教育の修学支援新制度の対象機関となった。学生の経済支援サービスのため、今後も認可が継続できるよう学校を上げ学習支援に取り組んでいく。